

英語科学習指導案

指導者 佐久間 有 紀

1 日 時 令和元年 10 月 8 日 (火) 5 校時

2 学 級 2 年 4 組 男子 13 名 女子 18 名 計 31 名 東校舎 3 階 2 年 4 組教室

3 主 題 単元名 PROGRAM7 If You Wish to See a Change (Sunshine English Course 2)

4 主題について

本単元は、中学校学習指導要領外国語編の目標「(3) 話すこと [やり取り] イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする」、 「(5) 書くこと イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする」を主に学習できる単元である。題材としては、環境問題に対するセヴァン・カリス＝スズキさんの言葉や考え、想いを紹介することで、生徒自身が生き方を見つめなおし、環境のために何ができるかを考えられるような内容となっている。

本学級の生徒は、英語を用いたコミュニケーション活動にも積極的に取り組んでいる。しかし、学力に差があり、適切な英語を用いて表現したいことを伝えることが難しい生徒も見られる。そこで、スモールステップを踏んだうえで、生徒が適切な英語表現を自ら選択し、紹介文を作成できるよう留意して指導したいと考える。

本時の言語材料は、学習指導要領の内容「エ文、文構造及び文法事項 (イ) 文構造 b [主語+動詞+目的語]」のうち、「(a) 主語+動詞+動名詞」を扱う。憧れの人物の紹介文の作成を通して、次の単元の『My Project⑤こんな人になりたい』の学習につなげることをねらいとする。他己紹介については、一学年次の My Project②において一度取り組んでいるため初めてではない。生徒に昨年の自分自身と現在の自分自身を比較させ、英語での他己紹介の表現の幅が広がっていることを意識させたい。また、評価基準を設け、紹介文を少しでも長く具体的にするためにはどんな表現ができるかを生徒に考えさせることで、学びに向かう力をより一層育むことを目指すものとする。

5 本時の達成目標

既習事項を用いて、憧れの人についての簡単な紹介文を作成し発表することができる。

6 評価場面での生徒の記述例

【外国語表現の能力】

おおむね満足 B	十分満足 A
選択した人物についての簡単な紹介文を、英語表現を自ら選択して4文で書くことができる。	選択した人物についての簡単な紹介文を、英語表現を自ら選択して5文以上で書くことができる。
(例) I'm going to talk about <i>Momoe Yamaguchi</i> . She was a singer when she was young. She was good at singing. I like listening to her songs. (4文)	(例) I'm going to talk about <i>Momoe Yamaguchi</i> . She was a singer when she was young. She was good at singing. I like watching her movies on YouTube. Her smile was really cute. (5文)

7 振り返りの場面での生徒の記述例

まとまった紹介文を作るのが少し大変だったけれど、今までに習った文法を使って作ることができた。動名詞の使い方も理解できたので、今後の表現活動に生かしていきたい。

8 本時の展開

段階	学習内容	指導上の留意点 評価の観点・方法 ◆教材・教具等
導入 5分	1 単元の見通しをもつ（全体）。 2 学習課題を把握する（全体）。	1 PROGRAM7 が環境問題について考えることができる単元であることを理解させる。 ◆セヴァンさん写真 2 My Project⑤につながる学習活動であると説明し、学習の意義を理解させる。また、昨年の My Project②に言及し、以前より幅広い他己紹介の表現ができることに触れる。
今までに習った表現を用いて、憧れの人についての簡単な紹介文を作成し、発表しよう。		
展開 40分	3 新出語句の練習(個人, ペア)。 (1) 教師に続いてリピート (2) ペアで練習 4 BD 練習, 意味確認(個人, ペア)。 (1) CDを聴き, 意味確認 (2) 教師に続いてリピート (3) ペアで練習 5 第1ステップ 紹介文の手本を確認する (全体)。 6 第2ステップ 紹介文作り (個人)。 紹介する人物を選択し, 例を参考にしながら4~5文程度の紹介文を作成する。 (例) I'm going to talk about <i>Momoe Yamaguchi.</i> She was a singer when she was young. She was good at singing. I like listening to her songs. (4文) 7 ラストステップ 発表する (班) 班で, 作った他己紹介文を一人ずつ発表する。聞き手は紹介文の内容と表現に着目し, 評価をする。	3 英語らしい発音に注意して練習する。 ◆スラスラ英単語シート (自作の英単語練習シート) 4 CDを聴き, ing 形の意味を推測させる。基本形である like ~ing, enjoy ~ing の定着を図る。 ◆教科書 ◆バーコードリーダー 5 教師の手本に注目させる。また, 動名詞の文を含めることを説明する。 ◆ワークシート <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【主体的】紹介文に使える表現を積極的に考え, 文を書く。</p> </div> 6 机間巡視を徹底する。また, My Project⑤での表現活動につなげるために, 評価規準を以下のように設けることを伝える。 ◆ワークシート <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>6 【表現の能力】 まとまりのある簡単な紹介文を4文で書くことができる。 A: まとまりのある簡単な紹介文を5文以上で書くことができる。 C: 紹介文を3文以下で書く。</p> </div> 7 発表者は, 大きな声で発表する。また聞き手は, 紹介文の内容と表現をメモを取りながら聞き, その後評価をする。 ◆ワークシート (評価の例) 過去形を積極的に使い, 過去のエピソードを紹介していてわかりやすかった。
終末 5分	8 学習活動を振り返る (個人)。	8 【リフレクション】本時の学習で気が付いたことや今後に生かせそうなことなどを記入させ, 1~2人に発表してもらう。 ◆リフレクションシート

9 指導と評価の計画

2年 英語		単元名 PROGRAM7 If You Wish to See a Change	総時間 7時間扱い
学習指導要領の指導事項		単元の目標	
<p>(3) 話すこと [やり取り]</p> <p>(イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする</p> <p>(5) 書くこと</p> <p>(イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする</p>		<p>・環境問題に対するセヴァン・カリス＝スズキさんの言葉や考え方、想いを理解したうえで、自分自身の生き方を見つめなおし、環境のために何ができるかを考えて伝え合うことができる。 【表現の能力】</p> <p>・動名詞，look+形容詞，give+人+物の意味と用法を理解し、それらを用いてやりとりしたり、自分の伝えたいことを表現したりできるようになる。 【言語や文化についての知識・理解】</p> <p>・セヴァン・カリス＝スズキさんについての本文を読み、要点を理解することができる。 【理解の能力】</p>	
時	主な学習活動	おおむね満足 (B)	
1 (本時)	動名詞の用法を理解する。 自分が紹介したい人の紹介文を、動名詞の文を含めて作成し発表する。	まとまりのある簡単な紹介文を4文で書くことができる。 【表現の能力】	
2	本文を読み取り、セヴァンさんの主張や彼女自身の行いを理解する。	セヴァンさんの地球環境サミットでのスピーチを視聴し教科書を読んだうえで、要点をおおむね読み取ることができる(ワークシートの正答率6～7割)。 【理解の能力】	
3	lookの新しい用法を理解し、lookの文を用いて紹介したい人の紹介文を作成し、交流する。	lookを用いて憧れの人についての紹介文を2つ書き、周りに紹介することができる。 【言語・文化に関する知識・理解】	
4	本文を読み取り、セヴァンさんの国際理解に対する主張を理解する。	教科書を読み、要点をおおむね読み取ることができる(ワークシートの正答率6～7割)。 【理解の能力】	
5	give+人+物の用法を理解し、憧れの人から与えられているものや、その人にあげたいものについて考え、やりとりする。	give+人+物の表現を用いて、憧れの人から与えられているものや、その人にあげたいものについて2つ考え、周囲と共有することができる。 【言語・文化に関する知識・理解】	
6	本文を読み取り、セヴァンさんの貧困問題に対する主張を理解する。	教科書を読み、要点をおおむね読み取ることができる(ワークシートの正答率6～7割)。 【理解の能力】	
7	環境のために何ができるかをグループで考えて発表し合う。	一つの環境問題について班で話し合い、自分たちができることについて考えて発表することができる。 【表現の能力】	